ニイハマ写真部 オンラインまち歩き撮影会

上原〜山根

Hello! NEW 新居浜

広瀬公園

別子銅山の近代化を進めたことで知られる広瀬宰平が、明治20年頃本邸を久保田町から上原地区に移築。現在も残る庭園や邸宅（国指定重要文化財・名勝）は「広瀬公園」として市民に親しまれている。平成9年、公園内にオープンした広瀬歴史記念館では宰平の業績をたどることができる。

佛國山瑞應寺

室町時代から続く古刹。現在は曹洞宗の専門道場として日本国内のみならず海外からも修行僧が集まる。冬には、わらじに網代笠姿で「ホーホー」と唱えながら市内を巡る「寒行托鉢」が行われている。毎週日曜日は坐禅会を実施。一般の方も坐禅体験ができる（要問合せ）。

広瀬公園周辺にあるお茶の木

広瀬家は、明治7年から茶園栽培を始め、滋賀や宇治から茶師を招き、栽培から製茶まで一貫した技術指導と管理を任せることで高品質のお茶を製造し、製茶業を拡大させた。上原地区やその周辺に残るお茶の木を探しながらの散策もオススメ。

桃山学院短期大学の痕跡

かつて広瀬家の製茶工場があった場所に、昭和48年「桃山学院短期大学」が誕生（平成4年閉校）。建物は現在「高齢者生きがい創造学園」として活用されている。正面玄関前や広瀬公園西のグラウンドの門には、ここに短大があったという証がある。

旧広瀬邸の煉瓦塀と石塀

旧広瀬邸を囲む煉瓦塀と石塀。特に南道路に面した、敷地内で最も長いイギリス積みの煉瓦塀は趣たっぷり。かつて映画のロケで使われたことも。傾斜のある道路のため、煉瓦積みの下に石垣で段差を設けて対応しているのも見所。

★広瀬家墓所 市指定史跡

山の斜面に石垣で二段に造成されている墓所。側面と背面を囲む煉瓦塀は、旧広瀬邸南面の煉瓦塀、石垣と同様のもの。墓所上段は義泰（宰平の義父）、宰平の墓を中心として広瀬家当主とその配偶者、子女の墓が並び、下段には広瀬家番頭や従業員の供養塔が並ぶ。

山田あじさいロード

高速道路沿いののり面に広がる全長約1kmの通称「あじさいロード」。ロード沿いに住む竹内さんがこっそり紫陽花を植えたのが始まりで、春の桜、秋の紅葉と共に、訪れる人を楽しませている。後に山田自治会も協力して手入れをするようになり、平成19年以降は、NEXCO管理事務所も活動を支援している。この場所には、昭和11〜15年の間、住友企業の幹部が中心となって作った愛媛県初のゴルフ場があった。専属プロやキャディーもいた格調高いゴルフ場だった。

瑞應寺 本堂

現在の本堂は、約170年前に再建されたもの。その後昭和9年に茅葺屋根を別子銅山の銅で葺き替える改修作業に着工し、昭和11年に完成。本堂前の美しく掃き清められた白砂利の紋様は必見。

瑞應寺 長泉堂

明治2年、当時の別子銅山支配人 広瀬宰平をはじめ、住友家との親交が深まったことでできた霊堂。住友家の先祖や、別子銅山殉職者の精霊が大切にお祀りされている。

瑞應寺のイチョウ 県指定天然記念物

樹齢800年以上の大イチョウ。根元から立ち上がる複数の幹が一体となって太い幹のように伸びている姿は見事。イチョウが色づく秋は多くの人でにぎわう人気の紅葉スポット。

瑞應寺大転輪蔵 県指定有形文化財

明治4年に京都の北野天満宮に安置していたものを受け継いだ。中央にある八角形の経箱の中に、二千巻余りの経典が納められていて、回転させてお参りすれば全てを読誦したことと同じ功徳があると言われている。